

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1838), 課コード (0703), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	2091	課コード	0703	会計種別	一般会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)													
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	若い世代の住宅取得支援		実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	都市部・建築住宅課				
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市							
	⑤事業期間	令和3年度 ~ 令和3年度			⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.55人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	23,963千円 (うち人件費 4,895千円)						
	⑧施策の位置づけ	施策コード	64002	重点プロジェクトへの位置づけ	重点3	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)				
(2) 目的	施策目的・展開方向	住生活に対する市民の多様なニーズに対応するため、住まいにかかわる相談窓口や総合的な情報提供を充実するとともに、若い世代の住宅取得や住宅リフォーム、液化化被害を受けた住宅等の敷地の有効活用、高齢者や障害者のためのバリアフリー化などに対する支援を進めます。また、市内への定住化を進めるために必			事業目的	若い世代や子育て世代の住宅取得に対する補助を行い、若い世代の市内での定住化を促進する。特に市外からの転入と市内東側地区での定住を促進する。							
(3) 事業内容	内容	我孫子市に住居票があり40歳未満(既婚者の場合は夫婦どちらかでも可)の若い世代が市内に住宅を取得し、市税の滞納がない場合において、次のいずれかまたは両方に該当する場合は補助金を交付する。 ・市内東側地区の住宅を取得した場合 ・市外からの転入			当該年度執行計画	・広報、ホームページ、市内外の不動産業者やハウスメーカー等へ依頼し制度周知を図る ・補助金申請等受付事務：随時(令和元年度制度は5月末まで受付。令和2年度制度は令和2年6月より受付開始。)							
		当該年度活動結果指標	補助金の交付申請数(平成31年度実績：446件)		単位	件	想定値	231					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値 (6) 目標値				
当該年度	制度が周知され、多くの人に活用される。				直接	交付申請数(平成31年度実績：446件)		件	446 231				
令和4年度	同上				直接	交付申請数		件	330				
令和5年度	同上				直接	交付申請数		件	330				
(7) 事業実施上の課題と対応	市外への周知方法について、協議検討する必要がある。29年度より新制度として施行し、30年度、31年度、令和2年度は補助額の見直しを実施した。事業終了前に継続等の事業展開を毎年検討する必要がある。				代替案検討	○有 ●無							
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度					
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)		
		*	住宅取得補助金		*	住宅取得補助金			*	住宅取得補助金			
		*	基本補助 20,000円×52件	1,040	*	東側地区 100,000円×108件	10,800		*	東側地区 100,000円×108件	10,800		
		*	東側地区 100,000円×145件	14,500	*	転入 50,000円×165件	8,250		*	転入 50,000円×165件	8,250		
合計		25,605	合計		19,068	合計		19,068	合計		19,068		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	45%	11,515	補助率	45%	8,572	補助率	45%	8,572	補助率	45%	8,572
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0
	一般財源			14,090			10,496			10,496			10,496
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.55		0.55		0.55		0.55		0.55			
	正職員人件費	4,785		4,895		4,895		4,895		4,895			
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		0			
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		0			
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	30,390		23,963		23,963		23,963		23,963			
	(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	91.81千円/件		103.74千円/件									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)											
必要性	評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
	(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	我孫子市の人口が減少傾向にあり、特に若い世代の定住化を促進したい。平成29年度より更に効果のある事業として、対象年齢の引き下げ、市内東側地区への定住及び市外からの転入を促進するよう見直し、30年度、令和元年度、令和2年度は補助額の見直しを実施している。特に令和2年度からは、補助要件を見直し、市内東側地区への定住及び市外からの転入者に対象を絞って補助を実施していく。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他 ○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他				□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>				○要 ○不要	
参加・協働の工夫	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要	
		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 精度周知のため、不動産業者やハウスメーカー等に協力を仰いでいる。						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要	
環境への配慮	環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要	
		□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要	
効率性	(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(件)	目標値(b)(件)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)		○①目標値達成 ○②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要
	(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	実施予定の対策		実績値(g)(千円)	対事業費(%)		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
	(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		対目標値(%)		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									
評価	評価コメント					改善策及び展開方向			